

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成21年12月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時40分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 清水弘子 鈴木京子 百瀬恵美子 奥津勝子 高橋英俊 浅輪いつ子 竹内恵美子 坂田よう子 柴崎 茂 土橋秀雄 渡辺順子
4 説明員	町長 三好正則 副町長 吉川重雄 鈴木総務課長 相田政策課長 早崎副主幹 齋藤主査
5 職務のため 出席した職員	局長 穂坂 優 書記 岩田隆吉
6 協議等の事項	(1) 平成22年度議会予算(案) (2) その他
7 その他	

(1) 町長あいさつ

あいさつの中で「新型インフルエンザの予防接種」、「旧吉田茂邸再建基金の活動状況」、「総合計画の町民意見交換会」、「構想日本主催のフォーラムにゲスト出演」、「小磯幼稚園地区説明会」、「電気自動車の導入」、「歳末火災特別警戒」、「仕事納め式・仕事始め式・賀詞交歓会」、「1月の主な行事予定」に関する最近の町の動きの話があった。

◎主な質疑

問. 電気自動車急速充電器の利用見込み人数は。また充電器の価格と電気自動車のリース料は。

答. 税務課への届け出は数件。充電器の工事は 490 万円。国県からの補助は 390 万円。この他に配線等で 67 万かかっている。電気自動車の月のリース料は 63,871 円。

問. 補助金が全額出るわけではないので、お荷物とにならないようしっかりと考えてやっていただきたいが。

答. 電気自動車はこれから時代の趨勢とともにハイブリッドの先は電気自動車の時代がくると想定してデモをしている。

(2) 町報告事項

総務課防災対策室から今年度作成を計画している洪水・津波ハザードマップについての説明があった。

洪水ハザードマップが想定している洪水は、金目川が 100 年に 1 回程度発生する大雨（1 時間雨量 109～117 mm）、葛川が 50 年に 1 回程度発生する大雨（1 時間雨量 94 mm）。

津波ハザードマップが想定している地震は、南関東地震（関東大震災と同程度の規模）。

◎主な質疑

問. 4 回の説明会の参加者数は。

答. 被害対象地区を対象に事前に回覧を回して 12 月に 4 回開催。12 月 5 日国府支所で 36 人、12 月 6 日高麗区民会館で 13 人、12 月 6 日東町福祉館で 30 人、12 月 12 日北下町福祉館で 10 人。

問. 大事なことだが参加者少ない。開催の曜日など町民目線で物事を考えて進めてもらいたい。

答. 8 月の区長会でお話しをしたが、今後、素案を作成して再度地区に説明を予定しているので、区長さんとも相談して進める。

問. 山からの水などによるものも表示されるのか。また、小田原市では民家の塀などに海拔表示がされているが町の考えは。

答. 県では今年度から土砂災害の調査を実施し 3 年後にデータがでる

予定なので、その後に土砂災害のハザードマップを作成していきたい。  
海拔表示は設置していきたいと考えている。

問. 過去の浸水等の場所や想定される決壊場所は地図に表示されるのか。

答. 過去の浸水等の箇所は表示をしていきたい。また想定される決壊箇所は県の地図でも示されていないので表示はしません。

問. 三沢川の河口に弁を設けてもらうように以前から言っているがどうなっているのか。

答. 平塚土木事務所に毎年要望はしている。

問. 防潮堤が砂で埋まって必要な高さとなっていないが。

答. 徐々に砂を除去している。

問. 高潮は想定しているのか。

答. 想定していない。現地に看板を設置して啓発をしている。

問. 説明会で多種に渡る町民の質問に答えられるような職員の布陣が必要ではないか。

答. 出来るだけ内容に答えられる布陣を作っていきたい。

※議長から町側に計画等の経過・結果報告（実施した説明会の結果報告も含む）を議会に必ず行うように申し入れることにした。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略

(4) 協議事項の結果

① 平成 22 年度議会予算（案）

前回の議員全員協議会に出された議会予算案から変更した内容を議長から説明後、意見交換を行い今回提出された議会予算案のとおり決定した。

◎主な意見

- ・ 議会のインターネット中継の予算を前回の案のとおり載せとけばいい。政務調査費を減らしてもインターネット中継をやったほうがいいのではないか。
- ・ S C Nで生と録画で放送、ホームページで会議録を読むことが出来る。職員が音声認識により会議録の反訳に時間を取られており、調査や相談等の時間の確保が必要である。
- ・ 事務局の会議録の反訳が相当大変。インターネット中継は賛成だが、これからも考えるということによろしいのではないか。
- ・ ケーブルテレビとインターネット中継を両方やっているところは非常に少ない。

- ・前回の全協でインターネット中継が出てきたのは突然であった。みんなで決を取って決めたわけではない。前回の案に対して御意見をということで今回の形になった。
- ・インターネットで流さなければいけない積極的な理由が優先順位からいけばないだろうし、経費削減も出来る限りしたい。

(5) 報告事項

① 議員年金方針（案）・・・山田議長報告

11月の県町村議会議長会の役員会で全国町村議会議長会の地方議会議員年金制度に係る今後の方針（案）の提案があり、県町村議会議長会としては「検討会・見直しB案」でという意見を全国町村議会議長会にあげることにした。

② 改正農地法・・・鈴木議員報告

12月20日前後に農地法の施行令が出るということ。また、農地の権利取得にあたっての下限面積の引き下げは、大磯町は農業委員会で40aと決まった。

③ 市町村職員中央研修所の研修・・・清水議員報告

市町村職員中央研修所の市町村議会議員政策講座（環境コース）の研修（11月17日から20日までの4日間）概要についての報告があった。

④ 事務局から報告

前回の議員全員協議会会議録の配布と一般会議会議録（案）について報告があり、一般会議会議録（案）については出席した「小磯幼稚園保護者の会」に内容の確認ののち公表をすることになった。また会議は録音をとることにした。

(6) その他

議員から本会議の冒頭に3ヶ月間の議会活動を議長が行うことはどうかという提案があり、検討をしていくことにした。